



◆性フェロモン剤取り扱いについて《重要》

毎年、部会を通じて取りまとめ、配布を実施していた、コンフューザー等は、令和6年分より、下記の取り扱いとなります。

1. 注文方法:部会取りまとめを終了し、年間予約(令和6年施肥・防除手引き 肥料・農薬の果実袋の予約注文書 果樹編)で注文下さい。

2. 注文時期:年間予約取りまとめ期間

3. 配布方法・時期:その他農薬と一緒に配布。2~3月の配布。

4. 留意事項:

①注文書記入:規格単位で記入下さい。コンフューザーR 規格50本

必要本数100本の場合⇒2 と記入

②配布後、設置までの期間は、冷暗な場所で保管下さい。

設置時期、方法は、時期になりましたら、部会を通じて資料配布致します。

◆当面する重点作業について

1. 剪定の切り口は必ず塗布剤を塗布する(トップジンMペーストなど)

2. 園内を巡回し、腐らん病の早期発見、早期治療に努める。

再発が多いので今までに処理した部分も再度点検する。

春に発生が多く、凍害で弱った樹も多いので感染しやすくなっている。

3. ネズミ対策の実施を行う。果樹総合情報参照

降雪前の時期は効果が高いので「ヤソヂオン」を使用し、ネズミの数を減らす。

4. 雪害対策として発生角度の狭い枝や折れやすい枝には、支柱をあてがうなど補強を行う。

5. 剪定作業では脚立はすべりやすいので、足場をしっかりと踏んで固定してから作業を行う。

6. 凍害対策としてワラまき・白塗剤の塗布などを行う。特にわい性樹の若木。

7. うどんこ病の芽を除去する。

◆りんご花芽の状況について

長野地域では健全花芽率は56%であり、花芽数が少ない状況です。褐変花芽率もやや高く、横径3mm以下の芽が多いため、令和6年度は、品質の低下や小玉になることが懸念されます。

充実した花芽となるようにせん定で日当たりの改善や、弱い下り枝を切り上げるなどの対応が必要です。

◆剪定の留意事項について

◎若木の剪定は、できるだけ春に近づいてから実施する。

◎高接ぎの方法については、果樹技術員まで相談ください。

◎新しい化樹のせん定について

落ち着いた樹にするため、枝を切るよりも誘引を主体に行う。

基本的に冬期の剪定(特に強樹勢の場合)は必要性が無く、凍害の危険性が増すだけとなる。

剪定は適期となる4月前後に行う。ただし樹勢が弱っている場合は早める。

成木になるまでは、二股三股の枝を積極的に残し、誘引を行い花芽(果実)が付くようにする。

成木になったら、太く(2cm以上に)なった枝を除いて、下枝まで光が入るすっきりした樹にする。

また二股三股(上下左右)・基部の立枝を除き、すっきりとした枝ぶりにする。

◆凍害対策について

わい化栽培（特にM9自根樹の新ワイ化）では、M9台木部分が凍害を受けやすい。
ワラ巻を行うか、白塗剤を塗布（地際から接ぎ木部の上30センチ程度まで）する。

◆剪定講習会開催について

下記日程により、開催致しますので、都合の良い会場で受講下さい。
なお、剪定用具メーカー（アルス・マキタ等）が、商品説明をする場合があります。

【篠ノ井支部管内】

開催日	曜	集合時間	集合場所	担当
令和6年 1月15日	月	午前 9:30	有旅公民館前	寺澤
		午前11:00	柳沢公民館前	寺澤
1月16日	火	午後 1:30	塩崎第2共選所集合（場所は希望者のところへ移動）	外谷
1月17日	水	午前 9:30	会場:福島宏之様園（瀬原田） 品種:シナノリップ・ふじ 講師:長野農業農村支援センター	寺澤
		午後 1:30	五明公民館前	寺澤

【長野南支部管内】

開催日	曜	集合時間	集合場所	担当
1月15日	月	午前 9:30	中真島中央道 わい性樹（秋映・シナノゴールド・シナノスイート）	根津
1月16日	火	午前 9:30	小林 英一様園（御 厨） 果樹研究会川中島支会共催	佐藤
		午後 2:00	小林隆雄様園（梵 天） （秋映・シナノゴールド・スイート）	根津
1月17日	水	午前11:00	中島久幸子様宅裏（川 合）	根津
		午後 2:00	宮崎 成一様園（青木島・大塚） （ふじ・秋映・シナノゴールド・スイート）	根津

【若穂支部管内】

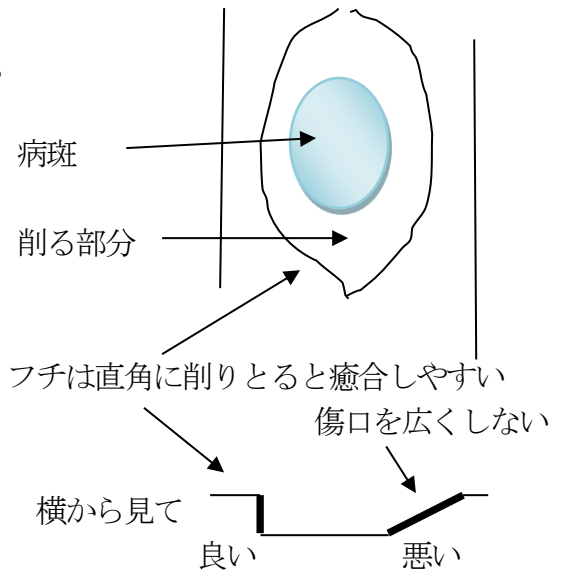
開催日	曜	集合時間	集合場所	担当
1月18日	木	午前10:00	町川田公民館前	松橋
			赤野田公民館前	根津
			山新田公民館前	松澤
1月19日	金	午前10:00	若穂果実流通センター前	根津

◆腐らん病対策について

- ①小枝の枯れ込み（果台感染）は、早期に除去し焼却する。
- ②胴腐らんは病斑部を紡錘形（上・下の部分を多く）に削り取る。病斑部の削り取った部位は、塗布剤トップジンMペーストなどを塗布する。
- ③胴腐らん対策には、泥まき方法もある。

④近年未処理や処理不足による腐らん病の増加が目立ち、被害拡大につながっているため、処理を徹底する。

- ⑤フラン病の発生した周りのせん定を遅らせる。
（樹液の動かない12月1月は切り口から感染しやすい）
- ⑥粗皮削りは、ハダニ・カイガラムシといった害虫の防除効果を上げるほか、フラン病の早期発見にもつながるので必ず実施をする。



◆シナノリップのせん定のポイント

「ふじのせん定と同じにしない！」ふじは垂れた枝を作るが、早生品種は立った枝を作る。

骨格となる枝は45度から60度の角度で伸ばす。水平にすると先端が伸びなくなる。

果実が付き始めると樹勢が弱くなり枝の伸びがとぼるので着果量が増えない。

特に垂れ枝となって弱った枝は花芽が付きにくい。

更に玉伸びしない。また熟期も遅い。

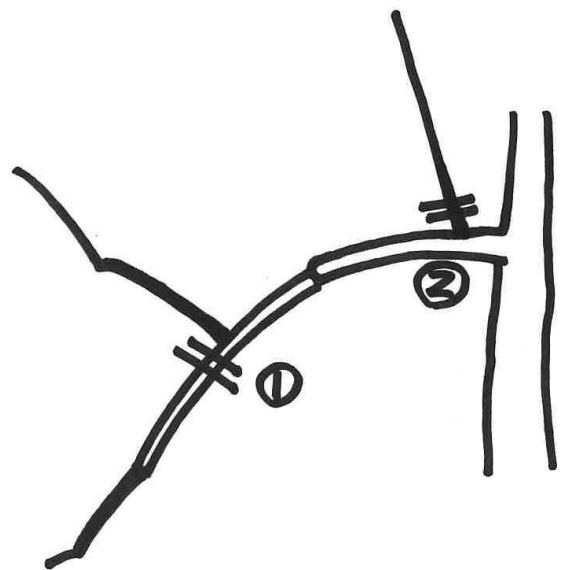
切り戻しせん定を基本とし強めに伸びるようにする。

ふじとは逆のせん定になる。

枝が垂れて先端が伸びなくなってきたら更新枝に切り替えていく。図の①

よって背側から出た枝は更新枝として残しておく。

ただし側枝の基部から出た枝は強くなりすぎるため使えないので徒長枝として切る。図の②



《栽培に関する問合せ》

寺澤（篠ノ井西部・信田）：080-1188-5229／外谷（篠ノ井東部）：080-8048-6602

松橋（松代）：090-4816-6297／佐藤（川中島）：090-7179-9866

根津（更北）080-1203-8576・松澤（若穂）080-1191-5166

吉澤（情報・編集担当・全域）：090-2543-0365／営農販売部（本所）：292-0930

○果樹のアドバイザー（流通センター長兼務）

伊藤（篠ノ井東部）080-2239-6816／松坂（篠ノ井西部）080-1188-4131

《販売に関する問合せ》各流通センター・共選所／営農販売部（本所）：292-0930

《資材に関する問合せ》各JAファーム・営農資材センター・経済部／農業資材課：299-3311